ＬＩＰ in HIRAKATA

２０１０年　１０月号

ＬＩＰ（りっぷ）　（Local Information Paper（ろーかる いんふぉーめーしょん ぺーぱー））　とは……

枚方市民発の、福祉（ふくし）・教育（きょういく）・文化（ぶんか）・環境（かんきょう）・ボランティアなどの情報（じょうほう）を掲載（けいさい）する地域密着型情報紙（ちいきみっちゃくがたじょうほうし）をめざします。

２日間、クーラーなしの生活を満喫♪

イギリスの子育て・教育事情は♪

どの子どものなかにも宝物が♪

- ［枚方の「共に学び共に育つ」教育は今（7）］「みんながどれだけ豊かに学びあえるかが大切♪」
- ［自然体験プログラム］　「西粟倉・森の学校　本物の自然を体験♪」
- ［国際交流］　行った！　見た！　触れてきた！？　自閉症の子連れ♪ ロンドン視察ツアーのご報告（2）♪
- スペシャルオリンピックス２０１０大阪　まであと１ヶ月♪
- 耳寄り情報　サントリービール工場見学♪
- イベント／サークル情報
- 編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「ＬＩＰ編集局」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（渡辺）　FAX：020-4665-8668

郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）

枚方の「共に学び共に育つ」教育は今（7）

これまで、障害のある子もない子も、地域の普通学校で「共に学び共に育つ」教育を大切にしてきた枚方市。ところが今度、初めて支援学校（養護学校）がつくられることになり、議論を呼んでいます。今こそ、枚方が育んできた「共に学ぶ」ことの意味を問い直したい―。市民に思いをききながら、考えます。

障害のある子もない子も、みんなが豊かに学べる授業とは？　今回は、授業づくりの視点から「共に学び共に育つ」教育の意味を考えたいと思います。

「共に学ぶ」って、どういうこと？―⑦
みんながどれだけ豊かに学びあえるかが大切

お話をしてくださったのは、約10年前まで枚方市の小学校で教師をされていた西岡陽子さん。1980年代に障害のある子を普通学級で担任され、枚方市教育研究会の「子どもをみつめる会」で、多くの教師たちとともに授業研究に取り組んでこられました。

西岡陽子さん

■ 障害のある子のためだけでなく ■

「障害をもっている子だけがプラスを得るのではなく、その子がクラスの集団に入ることによって、その子もみんなも、どれだけ豊かに学びあえるかが大切なんです」と西岡さんは言います。

今から20数年前、西岡さんは枚方第二小学校で、“かっちゃん”という自閉傾向をもつ３年生の子どもを担任しました。その時、思ったのは「この子がいきいきするクラスをつくらないといけない。でも、かっちゃんだけに焦点を合わせちゃダメで、ほかの子たちももっと豊かになるためには、どうしたらいいんだろう？」ということでした。

かっちゃんを軸に、みんなが豊かに学びあえる授業をつくれないだろうか―。そこで、校内に設置されていた「ことばを育てる教室」の教師１人、養護学級（現在の支援学級）の教師２人とチームを組み、毎週１回、教材づくりを考える話しあいを行うことにしました。ここから生まれた、さまざまな創意工夫のアイデアを授業で実践していきます。

■ 「うどん、ばんざい」の授業 ■

作文の授業の例を紹介しましょう。ことばを話さず、自分で考えて文を書くことができないかっちゃんが、どうやって作文を書いたのでしょうか？

まず素材集めとして、かっちゃんの日常生活の様子のいろいろをお母さんに写真で撮ってきてもらいました。22枚ある写真を黒板に貼って見せて、かっちゃんに好きな場面を選ばせます。選ばれたのが、うどんを作っているところの２枚。これで、作文のテーマが「うどん作り」に決まりました。

「私が伝えたかった課題―『作文を書く時はたくさん材料を集めて、たくさん捨てる』を実例として、ほかの子どもたちに示すことができたのです」

今度は、かっちゃんがうどんの材料を買って、自ら作り、食べるところまでの流れを写真に撮ってきてもらいました。写真を見ながら、かっちゃんの立場になって子どもたちが文を考えていきます。「僕はうどんを作りました」「包丁で切りました」「鍋に水を入れました」「だしも入れました」……。

途中で西岡さんが「会話文、入れたらどう？」と投げかけると、「いただきます」「おいしかった」などと声が上がります。これは、みんなにとって、作文の中に会話文を入れる手法の勉強になります。

「自分の作文をどういう切り口で書けばいいかという教材研究が、クラス全員でできた。かっちゃんのおかげで、教材の本質に深く迫れたのです」

■ どの子どものなかにも宝物が ■

西岡さんたちの実践には、ほかにもおもしろい事例がいくつもあるのですが、紙数の関係で書くことができません。宮崎隆太郎さんの著書、『障害児とともに学ぶ』（三一書房）の中で紹介されていますので、関心のある方はお読みください。

西岡さんの授業づくりの基本にあるのが、「人間は多面体の原石」という考え方です。どの子どものなかにも、キラキラ輝く宝物が潜んでいる。それを見つけて保障するのが教師の仕事で、そこには障害があるとか、ないとかは全く関係ないのです。

運動会で創作表現をした時、最後の側転の演技でかっちゃんが泣きわめいたことがありました。それを「さらしものにしてかわいそう」と言った人もいましたが、西岡さんは「ちがう。もっとうまくやろうと思ってチャレンジして、うまくできなくて悔し泣きしてるんや」と反論したそうです。

「やったらできる可能性が見えているのに、障害をもっているからといって、その子だけ安易にやらなくてよいと言うのはすごく失礼でしょう。チャレンジすることは未知の自分の発見だし、生きていく力になる。それをさせるのが教育じゃないですか」

文・写真／フリーライター・合田享史

西粟倉・森の学校　本物の自然を体験♪

８月９～10 日（月・火）に、岡山県の北東端の源流の村、西粟倉村での自然体験が開催されました。現地での案内、コーディネイトは㈱西粟倉・森の学校と㈶西粟倉村森の村振興公社が担当。今回の体験プログラムは、枚方市内で長期休み限定で取り組まれている私設留守家庭児童会『隣』が主催したものです。参加者は、子どもたち 10 人と、スタッフ・保護者等大人６人の計 16 人でした。

まずは、西粟倉村に源流を持つ吉野川で川遊び。水遊びで楽しんだり、川の生き物を探したりしました。

川で冷えた身体を温泉（黄金泉）で暖めた後は、茅葺の宿天徳寺で食事づくり。

古民家を改装した囲炉裏のある一軒家で、ゆっくりと過ごしながら、夕食をつくりました。

夕食後のナイトツアーでは、西粟倉の夜に潜む獣（鹿）に会いに行きました。あいにくの曇空で星は見えませんでしたが、都会では体験できない街灯のない真っ暗な夜の闇を体験し、ヒメホタルや野生の鹿に出会いました。

翌日は、ブナ、ナラ、トチを中心に 199 種類の植物が生育している原生林、若杉天然林に散策に行きました。若杉天然林では、樹齢 300 年程の大木があり、天然更新が見られる原生林で、森林浴が楽しめます。いろいろな植物や大きなカエルなど、原生林の空気の中で、元気に散策しました。

子どもたちからの感想は、とにかく「楽しかった!!」一緒に行った大人たちからも「枚方からたった３時間弱で、本物の自然の中に飛び込めたことは、ただただ感激でした」と、おほめの言葉をいただきました。「大阪は一番暑い時期だったようですが、２日間クーラーなしの生活を満喫しました」と言ってくださるかたもいました。

文：㈱西粟倉・森の学校　暮らし創造部　坂田憲治

㈱西粟倉・森の学校

西粟倉の資源（自然・技術・人・文化など）を活かし、森とつながる丁寧に積み重ねていく暮らしを西粟倉村からお届けしています。材料提供を含めた西粟倉・木の家づくりのコーディネイト、森や木、農産物に関する体験プログラムの開催、木の家具や玩具など生活雑貨、農産品などの販売を行っています。

TEL：0120-17-2480

WEB サイト：http://nishihour.jp/

㈶西粟倉村森の村振興公社

温泉、宿泊施設等、村の主要観光施設の管理・運営を始め、観光協会の事務局として、村内の観光イベント情報の提供、案内などを行っています。

TEL：(0868)79-2330

WEB サイト：
http://ns.vill.nishiawakura.okayama.jp/kousha/

７月１日～９日、（社）子ども情報研究センター主催の「イギリス・ロンドン視察ツアー」に、中３・自閉症の息子と共に参加しました。今号では、教育・子育て関連の施設を訪れて感じたことをお伝えしたいと思います。

行った！　見た！　触れてきた！？　自閉症の子連れ♪　ロンドン視察ツアーのご報告〈2〉

■イギリスの子育て・教育事情って？

今回私達が訪れたのは、「ホームスタート・ステヴォネージ」（未就学児がいる家庭にボランティアが訪問するイギリス発祥の“家庭訪問型子育て支援”の団体）、ノエルパーク公立小学校、リトルピープルオブフラム（私立の託児保育施設）、英国児童虐待防止協会、エフラ乳幼児センター（コミュニティーセンターを併設した公立のチルドレンズセンター）、ザファクトリーセンター（チャリティー団体が運営する保育園）です。

訪問先の各施設では、様々な人種民族の子ども達が育ち学んでいました。たとえば、ノエルパーク公立小学校では、近くにモスクがあるので子ども達の半数がイスラム系で、約 40 カ国の子ども達が通っています。リトルピープルオブフラムでも、約４割が移民家族の子ども達だということ。労働党の政権下では、保育サービスの時間数を決めて政府が託児代を支払うシステムがあったため、家庭の経済状態にかかわらず子どもを預けることができたのですが、この５月の選挙で政権が交代したため制度が変わってきているとのこと。これからどうなっていくの？　ちょっと気になるところでした。

託児サービスと、朝食や放課後クラブ（学童保育）、成人学習、母親と乳児の「立ち寄りセンター」等のサービスを提供しているエフラ乳幼児センターでも、事情は同様。「ようこそ」という挨拶が 11 カ国語で書かれた掲示が入り口にありました。併設のコミュニティーセンターでは、母国語が英語でない人達も学べるように、英語や算数といった「成人学習」コースが毎週開かれています。掲示板には「あなたの中にある宝物に気づいて、自分を大切にしましょう」「無料のジムレッスンへのお誘い」といったポスターが貼られていて、教育を受けられずに育ち、「子どものまま親になった」若い 10 代の親達のための啓発活動や教育に力を入れていることがよく分かりました。

エフラ乳幼児センター：チルドレンズセンターの遊び場

■小学校で、子ども達と楽しく交流♪

小学校は１クラスの定員が 30 人だそうで、クラス担任の教師に加え、アシスタントが１人か２人入ります。見学に入れてもらった 3～４年生のクラスでは、担任がガーナ出身の先生で、ワールドカップ開催に合わせて４週間にわたりアフリカについての勉強中だということ。南アフリカ共和国の元大統領、ネルソン・マンデラの写真がプロジェクターで映されている中に入っていった私達を、子ども達は喜んで迎えてくれました。

「日本では、１クラス何人ですか？」「40 人です」「多いね～。じゃ、先生は何人？」「１人よ」「えー？　40 人を１人で教えるの！？」通訳を交えて子ども達の質問に答えると、驚きの声があがりました。そうだよねぇ、１クラスの人数、日本のは多過ぎるよねぇ……。

「他に聞きたいことは？」「はい！　はい！」手を上げたのは、一番前に座っているヒスパニック系の金髪の男の子。「数はどうやって数えるの？ぼく、ちょっと知ってるよー」そして、「はっち、きゅー、じゅー」とこちらの言った言葉を器用に繰り返して、拍手喝采。

一方クラスの最後列には、とても落ち着いた感じのイスラム系の男の子がいて、なぜか私と目が合いました。賢そうな子だなぁ、と思って見ていると、向こうも心持ちにこっ。（このクラス、いろんな子がいるよね。その中で、君は、おとなしくみんなを見守るリーダー役なのかな？）そんな風に思いながらにっこり返すと、（うん。おばさん達、遠い国から来たんだね。でも、僕、おばさんのこと、よく分かるよ……）何も言わぬのに、数メートル向こうにいる少年と会話を交わせたような気がしました。そんな不思議な気持ちの交歓も。

教室の一角、窓辺にはゆったりくつろげるブッククコーナーが設けられていて、多動や神経質な子もここでならみんなと一緒に授業が受けられるなぁと感心しました。また、クラス担任の教師には、体育等専門教師の授業の間にこれからの授業の「プランニング」（計画作り？）をすることが課せられているそうです。これも、うらやましいシステムですね。一方で、公立学校でも、子ども達のテストの成績次第で補助金が増減すること、また、保育者の場合は細かい資格制度があり、資格が即収入につながっていること等、すべてが数字等のデータで評価される国なのだと知りました。

わずか数日間の滞在ではとても知ることのできない、遠い国の実情。それでも、そこに行ったことにより、イギリスがぐっと身近に感じられるようになりました。

（とよたかあきえ）

スペシャルオリンピックス2010大阪　まであと1ヶ月♪

いよいよ、スペシャルオリンピックス、ナショナルゲーム夏季２０１０年大阪大会まで後１ケ月です。

以前も、掲載しましたが、１２種目が開催されます。開会式は大阪城ホールです【11／５（金）】。次の種目と会場は下記の通りです【11／６（土）・７（日）】。

●水泳競技　→　大阪市舞洲障害者スポーツセンター　→　大阪市此花区。
●陸上競技　→　万博記念競技場　→　吹田市。
●ボウリング　→　イーグルボウル　→　大阪市淀川区。
●バドミントン　→　舞洲アリーナ、メインアリーナ　→　大阪市此花区。
●バスケットボール　→　なみはやドーム　→　門真市。
●卓球　→　舞洲アリーナ、メインアリーナ　→　大阪市此花区。
●サッカー　→　大阪市長居第二陸上競技場　→　大阪市東住吉区。
●ゴルフ　→　茨木カンツリー倶楽部　→　茨木市。
●体操競技　→　大阪府立障がい者交流促進センター　→　堺市南区。
●テニス　→　シーサイドテニスガーデン舞洲　→　大阪市此花区。
●バレーボール　→　なみはやドーム　→　門真市。
●フライングディスク　→　万博記念競技場　→　吹田市。
●閉会式がなみはやドームです。

皆様方、もし、よければ、応援をよろしくお願いします。　　（ＬＩＰ編集局 落合）

《スペシャルオリンピックス 2010 大阪ホームページ》
http://www.son.or.jp/sonng2010/

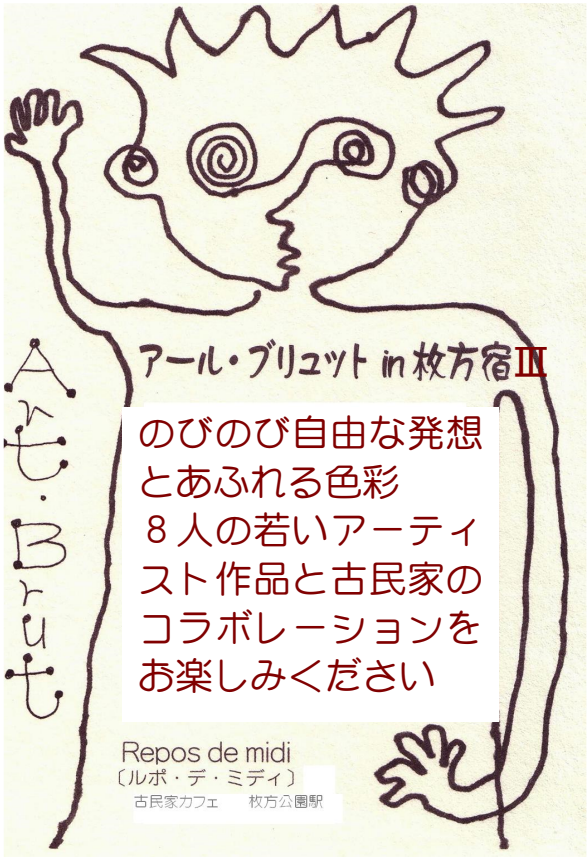
耳寄り情報♪

サントリービール工場見学

「モルツ」で有名な工場は、見学４０分間、試飲２０分間の計１時間コースです。
説明はお姉さん、お兄さんが優しい口調でしてくれ、わかり易いですよ。
お酒が苦手で飲めない方には、ソフトドリンクも用意されています。
ご予約はお電話にて。

サントリービール工場（京都）
〒617-8530　京都府長岡京市調子 3-1-1
075-952-2020（9：30～17：00）
無料シャトルバス　ＪＲ長岡京　阪急長岡天神より発車

松瀬（ＬＩＰ編集局）



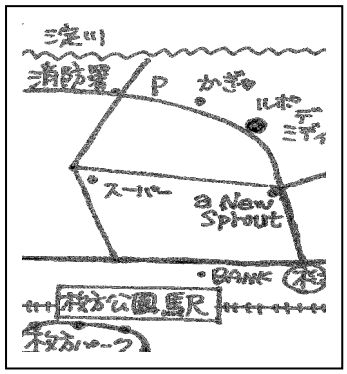
枚方宿くらわんか五六市に合わせて絵画展開催

１１月２日（火）～
１１月１４日（日）
（AM11：00～PM6：00
最終日 PM5：00）
（７日、８日は休み）

枚方宿くらわんか五六市
１１月１４日（10時～16時）
には街道沿いの古民家にも作品を展示します。
（雨天中止）

Café zakka
Repos de midi
ルポ・デ・ミディ
072-843-1525

枚方公園駅徒歩３分
「鍵屋」の近く
目印　大きな松の木



「アール・ブリュット」とはフランス語で「生の芸術」を意味します。
正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出す絵画や造形のことをしめします。

【参加者募集】　地域連携勉強会　１０月＜定例会＞
在宅での看取りについて学ぶ勉強会
在宅での医療・介護に取り組んでおられる方々の出会いの場です。医者・訪問看護・施設関係者・介護サービス従事者・家庭での介護者などどなたでも参加できます。
■日時　１０月１６日（土）１５時～１７時
■場所　在宅ホスピス　あおぞら　枚方市駅前
サンプラザ１号館６階　TEL 072-844-4100
■話題提供者　みやのさか整形・外科・皮膚科・内科
院長　高谷　泰輔　氏
■今後の開催予定　１２月１８日（土）１５時～１７時
連絡先090-5167-4600　（医療ソーシャルワーカー　菊地）

【講座】第5回「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会
▼と　き：11月6日（土）午後1時30分～5時
▼ところ：寝屋川市民会館第1会議室
▼内容
・大阪府教育委員会支援教育課から、高校受験についての説明
・自立支援コースのある高校から
・高校受験をめざす障害生徒や保護者から
・フリートーク
・進路相談会
▼参加費：無料
▼問合せ・申込み：090-1960-3469（松森）

＝アッキー28号が書きました♪＝　【広告】
好評につき、簡易版で増刷！
『五行歌自選小歌集　緑の星』　¥300
「障害の子」
「友よ、わたしの生きなかった生を生きる人たちよ」
「緑の星」　等　五行歌作品140首　収録
五行歌ブログの冊子化も・・・
『アッキーの五行歌夢日記（１）　2006年～2007年』　¥400
『アッキーの五行歌夢日記（２）　2008年』　¥300
桑本明枝著　　（郵送は、各々プラス90円）
お問合せ・お申込は、akkie.toyotaka@kud.biglobe.ne.jp
または、090-5893-5635（とよたか）まで

自由に生きたい
と願う
障害児の母である
私の前に
真白く光る道

魂とか
心とか
うるさい奴やねん、私
それでもよかったら
あなたが好き

共に『緑の星』より

イベント・サークル・ボランティア情報

【映画&監督トーク】

上映会&鎌仲ひとみ監督トーク
「ミツバチの羽音と地球の回転」
日　時：　10月3日（日）
　10：00上映会／12：40監督トーク／14：00上映会
場　所：　京田辺市商工会ＣＩＫビル　キララホール
　　（ＪＲ京田辺駅すぐ・近鉄新田辺駅徒歩５分）
当日券1,000円　前売り800円　高校生以下無料
監督トークのみ　500円
主　催：　未来をつむぐ母の会
連絡先：　Fax　　0774-65-3670
　　Eメール　miraiwo2mugu@mail.goo.ne.jp

第１回樟葉宮　みっけ市

日時：2010年10月17日（日）10時～16時
場所：交野天神社境内、樟葉宮表参道商店街
　手作り市でいいものみっけ！！
　50店舗以上出店！
　スタンプラリーdeガラガラ抽選！
　末等まで空くじなし！

みんなでつくる広場「ちょこっと」バザー

日時：2010年10月17日（日）10時～15時
　樟葉宮みっけ市のスタンプ設置場所になっています！
　食器・雑貨（カバン等）・衣料品
　オープンカフェ：
　　自家焙煎コーヒー　200円
　歩き疲れたらちょこっと休憩！
　休憩は無料！

＊問合せ：みんなでつくる広場
　　「ちょこっと」
　　（くずは野田公民館前）
　TEL：080-4078-2802

【講座】特別支援を考えるセミナー

－個の力、集団の力、それをつなぐもの－
　集団の力の重要性が改めて取り上げられるようになっている今、すぐれた実践を傑出し続けている各園や学校を一本の線で結んでいくことができればと願い、企画しました。個々を分断する保育や教育のあり方ではなく、「つなぐ」ための保育や教育の実践を提唱していきたいと思っています。
◆日時　10月30日（土）13：00～17：00（受付　12：30～）
◆場所　大阪市立総合医療センター3Ｆ　さくらホール
　（1階ドトールコーヒー入口右横のエレベーターにて3階）
◆資料代・登録費　　700円
◆申込み方法　下記事務局に連絡、「特別支援を考えるセミナー」申し込み用紙に氏名、住所、電話番号とファックス番号、所属を明記し、事務局にファックスでお申し込み下さい。事務局から受付印が押されたファックスを受信後、氏名・所属を記入し、資料代・登録料700円をお振込み下さい。
　（キャンセル時の返金は致しませんので、欠席の場合は代理の方にご参加いただけますよう、お願いいたします。）
締め切り　10月8日（金）
事務局　　学校法人　あけぼの学園　あけぼの幼稚園内
　　「特別支援を考えるセミナー」宛
　　〒561-0882　豊中市南桜塚2丁目14-7
　　ＦＡＸ　06-6849-2125

【講座】「虹色の十五の春」をめざして

～配慮を要する子らの高校選びについて語り合おう～　パネル討論
　中学校卒業後の進路は、どのように考えておられますか？
　その子その子にあった未来は、きっとあるはずなのに……。
　どうやってそこに行き着けばいいのだろう？　今うちの子には、何が足りないの？
　子どもの特性に合った進路を選んでやりたい……。
　選べる現状なのだろうか？　そして、更に遠い未来、就職はどうしよう？
　悩むことはいっぱいあるけど、しっかり考えること、できていますか？
　パネラーの話を聞いて、共に語り合いましょう！　小学校高学年の　お子さんの保護者にも、ぜひ聞いていただきたいと思います。
◆日時：　2010年11月4日（木）　10時～12時30分
◆場所：　ひらかたＮＰＯセンター　一階　会議室「ふらっと」
　　（サプリ村野内）
◆パ　ネ　ラー　　：Ｉさん　（高２の子の保護者）
　　Ｔさん　（中３の子の保護者）
　　Ｕさん　（小２の子の保護者）
◆コーディネーター：　石打澄枝さん（元　小・中学校教員）
　定　員：　２０人
　資料代：　300円
◆申込み・問合せ：０９０－５８９３－５６３５（とよたか）
◆主　催：　放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

◇◇ひらかた市支援学級保ゴ者の交流会◇◇

この交流会は、障害のある子と家族が笑顔で学校生活を送れるように緩やかな繋がりをつくろう～とスタートしました。
今では、当事者や支援者、教員や支援学校の保護者、就学前のお子さんを持つ保護者など、いろんな立場の方が入れ替わりで参加してくださっています。
どんな方でも参加ＯＫです。

・日時：１０月１９日　１０時半～１２時
・場所：ラポールひらかた
（入り口で、どこのお部屋か確認ください。
　団体名がない場合は、４階のフリースペース）
・参加費無料
・連絡先：090-9167-7187　chip-dale@kcat.zaq.ne.jp（井村）

◇◇ひらかた市支援学級保ゴ者会の交流メーリングリストができました！◇◇

メーリングリストとは、電子メールを使って大勢の人とコミュニケーションできるしくみのことです。
決められたアドレスへメールを送るだけで、参加者全員にそのメールが配信されます。
自宅にいながら登録しているメンバーと情報交換や交流ができます。
まずは、配信されたメールを読むだけでいいので、交流メーリングリストへ参加されませんか？

※就学前のお子さんの保護者や支援者の方等の参加もＯＫです。

参加ご希望の方は、
１）お名前、２）ふりがな、３）電話番号、４）メールアドレスを添えて、メールにてお申し込みください。
chip-dale@kcat.zaq.ne.jp（井村）まで

LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

枚方市

☆ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆ 枚方市ボランティアセンター ［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆ 北河内ボランティアセンター ［磯島茶屋町 20-1-101　072-848-4166］
☆ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた ［招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆ コミュニティーカフェ ラ テール ［西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆ NPO法人 りりあん ［長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆ 婦人洋品店 シャルム ［南楠葉 1 丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆ 喫茶 Dik Dik ［岡本町 8-17　072-846-5377］
☆ たこやき・おこのみ けんちゃん ［大峰南町7−1スーパーワカバ内　072-859-4155］
☆ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 ［藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆ 泉屋 楠葉店 ［楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ ［堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆ 京阪総合会計事務所 ［西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆ ヘアーサロンかわむら ［長尾東町 3-1-4　072-859-1601（予約優先）］
☆ ソーイングの店 みなよし ［香里ヶ丘 3-11-3-4　072-854-0756］
☆ 喫茶&アンティークショップ Squirrel（スクワーラル） ［宗谷 1-1-1　072-859-2475］
☆ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび ［南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆ 割烹 千鳥 ［岡東町 12-13 ひらかたさんぷらざB1F　072-843-8114］
☆ WAVE34（ボウリング場） ［田口 4-11-8　072-848-0450］
☆ ヘアースタジオぱぺぽ ［南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆ 枚方市役所（市民活動課・環境総務課・人権政策室） ［大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆ (財)枚方市文化国際財団 ［岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆ 食育ステーションまきの ［牧野本町2丁目 19-2　072-397-2111］
☆ 社会福祉法人 心愛　心学塾作業所 ［大峰元町1丁目 21-5　072-859-9194］
☆ 紅茶専門店VIE ［南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆ shot bar カボチャソース ［牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆ ポパイ商店 ［山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆ NPO法人ハートネット ［村野西町1-27　072-805-4373］
☆ クッキー工房おれんじはうす ［交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆ 全労済大阪府本部 共済ショップ枚方 ［大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F　072-804-5550］
☆ 健康・福祉プラザ 助さん・たくさん ［大峰元町 1-1-1　072-858-8565］
☆ エステのお店 ジョセフィンいしま ［牧野阪 1-23-5 牧野駅前デパート 2F　072-851-8727］
☆ 陶器食器のお店 a new sprout ［堤町 2-14　072-846-9550］
☆ 雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ ［堤町 10-12　072-843-1525］
☆ マイウェイひらかた ワーク草笛 ［藤阪天神町 3-1　072-808-2031］
☆ ミュージック・ケアハウス「花音」 ［川原町 3-1 クラウンビル4階　072-841-8822］
☆ たかはま歯科医院 ［津田駅前 2 丁目 17-1-108　072-896-1180］
☆ 渦潮ベーカリー楠葉店 ［町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆ 枚方市野外活動センター ［穂谷 4550 番地　072-858-0300］
☆ 社会福祉法人くにみ会「清水園」 ［津田 873-2　072-896-1600］
☆ 輝きプラザ「きらら」 ［車塚 1-1-1］
☆ 三代目たくちゃん ピーコ ［牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆ MIKIHOUSE キャラメル ［牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆ 株式会社 丸天酒店 ［牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆ NPO法人パーソナルサポートひらかた ［中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆ 自閉症療育センター Link ［岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆ MogaJogaDining 枚方宿 ［堤町 2-15 072-846-3535］
☆ bar moonshine ［宇山町4−8　072-866-5667］
☆ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぱぴるす ［大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆ ぶらっとホーム・すがはらひがし ［藤阪東町 3-1-11　072-859-5005］
☆ とくふうホーム ［大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆ 音楽療法スペース　ウッドヴィレッジ ［牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆ Live Space むじゃき ［新町 1-3-17 2F 京阪ジャズ協会内　072-396-6286］
☆ みんなでつくる広場「ちょこっと」 ［楠葉野田 2-30-8　080-4078-2802］
☆ スパルレイ枚方南 ［津田山手 1 丁目 24-1　072-808-4126］
☆ 本とカフェ Benedetta ［町楠葉 1-6-25 寺山ビル2F　080-6115-8133］

そのほか

☆ 寝屋川市立市民活動センター
☆ フレッシュベーカリー ラッキー ［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆ 寝屋川市立ふれあいプラザ香里 ［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店 1F　072-835-3335］
☆ ヘアーサロンおおまち ［交野市私部 3-17-2　072-891-5024（予約優先）］
☆ たこやき屋 中角 ［交野市倉治3丁目 52-1　072-891-4022］
☆ レストラン ジュリア ［交野市私部3丁目 11-3-2　072-891-2288］
☆ NPO法人 ゆいむ（結夢） ［交野市私部7丁目 12-58　072-810-7880］
☆ 作業所クローバー ［交野市郡津5丁目 9-3　072-894-4822］
☆ えんでら村作業所 ［交野市天野が原町2丁目 14-20　072-893-4890］
☆ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆ 交野市役所 市長公室 ［交野市私部 1 丁目 1-1］
☆ きさいち植物園ファンクラブ事務局 ［交野市私市 7-19-14　072-894-0840］
☆ わくわく科学館 ［交野市私市 6-10-2　080-3819-7292］
☆ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター ［京都市伏見区塚本町深草 67　075-645-2047］
☆ むく福祉会 ワークホーム れっつ ［綴喜郡宇治田原町禁制戸 38-1　0774-88-5846］
☆ 宇治田原社会福祉事務所 ［綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2　0774-88-2394］
☆ 福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター ［福山市三吉南 2-11-22　084-928-1346］
☆ ベビーフェイスプラネッツ松井山手 ［八幡市欽明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271］

移動配布所

☆ フンバルクイナ音楽隊 ―出前出張音楽隊― ［funbal@mail.goo.ne.jp　090-6055-8312］

いつも応援ありがとうございます！

ＬＩＰ応援団

コミュニティカフェ・ラテールさん

ＬＩＰを継続して発行していくために、ＬＩＰ応援団を作りました。一口２０００円です。応援団員には以下の特典があります。
☆ＬＩＰ裏表紙に応援団員のお名前掲載！（希望者のみ。匿名も可です）
☆ＬＩＰの郵送サービスします！
１口で１年間郵送します。
（希望者のみ。複数部数も歓迎です）
■郵便振替 00920−8−120259（LIP 編集局）
■連絡先：lip＠love-dugong.net

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
20798	前号から繰り越し
2000	広告
1000	応援団
▼2320	郵送代
▼5320	９月号印刷代
16158	計（次号へ繰り越し）

★創刊五周年の謝恩お茶会、８月 28 日の印刷日にあわせて行いました♪
　予想に反して？　１７名もの方に来ていただけました。編集メンバーの合田さんの手品もあり、くつろいだ時を過ごすことができました。初顔合わせの方も多く、いろいろな出会いがありました。
　残念だったのは、気温が高すぎ、ｗ自慢の手焙煎ホットコーヒーの注文が少なかったことです（苦笑）。気温が低いときにまたやりたいと思っています♪
★長期連載中のアッキー28 号さんの「五行歌集」が完成。６ページに広告を掲載させてもらってます。「わたなべ式中綴じ製本機」で製本したものです。多くの人に読んでもらえるといいなぁと思います。
　製本に興味のある方は多いようなので、近日中に「製本ワークショップ」をやってみたいと構想中です。興味のある方は、編集局までご連絡ください。　（w）

表紙・７ページイラスト：平井由恵